



演じる人々ー芝居・役者・大道芸

2012年6月28日（木）～ 9月18日（火）
アジアギャラリーB

芝居は、そら事の世界。大衆が憧れ、憂さ晴らしをする娯楽の場であった芝居小屋や舞台の様子は、これまで多くの画家をひきつけてきたテーマでした。

本展前半では、芝居や大道芸、映画の世界で活躍した役者や芸人、俳優に焦点をあて、「演じる人々」の魅力に迫ります。虚構の芝居世界で、現実とは別の人生を演じる役者や俳優、研鑽を積んだ技によって観客を非日常世界へとたくみに誘う大道芸人は、どのように美術作家の眼に映ったのでしょうか。会場では、作品に登場する有名俳優やアジアの大衆演劇についても紹介いたします。

後半では、「演じる」ことで現実社会を生き抜く人々に注目します。まずは、作家自身が作品の中に「役者」のように登場する写真作品を取り上げます。現実の社会で、生きていくときにぶつかる問題や葛藤を自ら演じ、写真作品の中に写しこむことによって、乗り越えようとしている作品です。そして、最後のコーナーでは、一般の人々、民衆がさまざまな社会問題が生じる現実社会を生き抜くための手段として、仮面をかぶってなんとかやりすごしていく姿をとりあげます。

本展では、芝居や舞台で、そして現実社会で、「演じ」ながら生きる人々の姿に、約40点の作品で迫ります。



マンジート・パワ（インド）
《曲芸師》1995年

1 大道芸 —— ベトナムのサーカス、インドの大道芸人

マンジート・パワ	インド	曲芸師	油彩・画布	1995
レ・フイ・ホア	ベトナム	（サーカス）	水彩・紙	1987年頃

※個人蔵

2 芝居 —— 中国の伝統劇、潮州劇、チェオ（ベトナムの大衆歌舞劇）

ウィリアム・サンダーズ	中国	上海の劇役者	アルビュメン・プリント	1870年頃
作家不詳	中国	戯曲「虹橋贈珠」	水彩・紙	1950年代
ヤン・フォン（仰峰）	中国	戯曲「宇宙鋒」	水彩・紙	1950年代
シェ・ジグワン（謝之光）	中国	上海大徳顔料工場ポスター	オフセット・紙	1927
ハン・ジイン／ジイン画室（杭穉英／	中国	愛禮司洋行ポスター（梅蘭芳）	オフセット・紙	1925
作家不詳	中国	華成たばこ会社ポスター（「三国志」	オフセット・紙	1920-30年代
ジャン・ビーウ（張碧梧）	中国	戯曲「能仁寺」	オフセット・紙	1954
リン・ムホア（林木化）	シンガポール	潮州劇	油彩・板	1965
		街頭の旅芸人	木版・紙	1958
		子守歌	木版・紙	1960
ブイ・シュアン・ファイ	ベトナム	チェオの役者	油彩・画布	1963

3 映画俳優

アトウル・ドディア	インド	ガンボージ色のガッパル	油彩、アクリル、大理石の粉、木炭・画布	1997
ミヤーン・イジャーズル・ハサン	パキスタン	ボカン！	油彩・画布	1973
A. H. マハヴァル	パキスタン	切望	リトグラフ・紙	1966
シャーヒド	パキスタン	私の眠り、あなたの夢	リトグラフ・紙	1971
A. H. マハヴァル	パキスタン	海	オフセット・紙	1968

4 役者になる作家たち

ここでは、作家自身が役者のように誰かを演じ、登場する作品を紹介します。

これらの作品は、ベトナム、韓国、香港出身の作家が、アメリカで生活するなかで制作したもので、自分自身の姿を絵画や彫刻ではなく、写真というメディアで表現しています。アジアとアメリカという異なる文化圏を生きる作家たちにとって、自らの存在を問う手段として、写真は自分自身を写し出し、客観化できる重要なメディアだったのです。



ニッキー・リー（韓国）《ヒップホップ・プロジェクト（19）》2001年

ニッキー・リー	韓国	パンク・プロジェクト（7）	フジフレックス・プリント	1997
		ヤング・ジャパニーズ・プロジェクト（6）		1997
		ヒップホップ・プロジェクト（19）		2001
		スイングーズ・プロジェクト（23）		1998-99
		オハイオ・プロジェクト（7）		1999
		スクールガール・プロジェクト（3）		2000
ハン・ティ・ファム	ベトナム	であるということは #1- #5	写真	1985
ツェン・クオンチ（曾広智）	中国	カリフォルニア（ディズニールンド）	ゼラチンシルバープリント	1979
		ニューヨーク（自由の女神）		1979
ティファニー・チュン	ベトナム	ゴルフコースでライムの果実の箱を引く	Cプリント・MDFパネル	2004

5 仮面をかぶって生きる

人々が「演じる」のは、なにも芝居や舞台の上だけのことではありません。さまざまな問題が生じる現実の社会を生き延びるために、時には仮面をかぶることでのぐこともあります。

ここでは、仮面によって素顔を隠さなければならぬ社会状況を示したミャンマーの作品、また人々の楽しみであるはずのカーニバルで使う仮面で顔を隠された女性が、抑圧の元におかれていることを示唆するフィリピンの作品など、人と社会とを切り結ぶものとして象徴的に仮面が用いられた作品を紹介します。



イエー・ミン（ミャンマー）《仮面 96》1996年

トゥン・ウィン・アウン	ミャンマー	人間と仮面	ブロンズ、石膏、木、ジュート、紙ほか	2001
ヌネルシオ・アルヴァラード	フィリピン	仮面の女王	油彩・画布	1998
イエー・ミン	ミャンマー	仮面 96	油彩・画布	1996